
dried flower

たかひな o

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

d r i e d f l o w e r

【Nコード】

N 1 4 4 2 A

【作者名】

たかひな
o

【あらすじ】

男嫌いの女の子が跡部に無理やり男テニのマネにされるお話。お相手は跡部ですw

~ **a l i l y** (前書き)

名前変換できません;;

~ a l i l y

あなたと約束したあの場所に

私は何時までも

あなたを待っています

この花を持って，，，，，

d r i e d f l o w e r ~ a l i l y

「はぁ・・・何時聞いてもええ話・・・グスっ（泣）」

「ツハン！何処がよ；；あんた毎回毎回コレ読んで泣くの止めなさいよ〜」

「何処がつて！！全てよ！！す・べ・て！！！！ひとみには分らないかい！！！」

「はぁいはい。そうですねー。うちには全然わかりませーん。」

ムキーーーーーっ!!!!!!
(怒)

ひとみと私は 氷帝学園 ちゅう学校に通っています

ひとみとは小学校からの腐れ縁・・・

しかも今までずーーーーっと同じクラスなのだ；

うれしいことには変わらないけどね

「まったくそんなんだから中3になっても彼氏できないんだよ?？」

ッハン!! 彼氏いい? そんなでできなくていい!!

それ以前に男キモイ!!!!!!

男なんてムサくて幼稚くてただ煩いだけだもんっ!

おとぎ話の王子様を想像するだけで私は十分だもんっ!!

「そう言うひとみには居るの?!

居るわけ無いってOそうそうO居ない居ないW

「ん?何が?」

「彼氏」

「居るけど？」

・・・え？

「ワンモアプリーズ？」

「彼氏居ますけど〇何か？」

「ええええええええええええ！？」

あのひとみが?! (失礼)

まっ・まさかつ! ! ! ! !

変な男に捕まってるんじゃないんでしょうね?!

ああ! ! キットそうなんだ! !

戻ってきて! ! ! 私の一とみ! ! ! ! !

「あんた今変なこと考えてたでしょ」

違うよ! 失礼なあ! !

「そんな事より！！誰？！誰と付き合ってるの？！さあさあ！！吐
けええええええ！！！！！！」

ひとみの手を握って横に振り回す。

「・・・んっとな

・・・穴戸君」

数秒間フリーズ
0

「ひとみの彼氏が穴・っむぐっ」

言おうとしていたことをひとみの手によってさえぎられた。

苦しいっちゅーの!!

「何さらしとんじゃワレえ・・・」

コワっ!!!! 凄い睨みようやんけえ・・・

ひとみは睨みながら私の口を押さえてた手を離れた。

「ひとみにそんな趣味が・・・・・・・・っはぁ・・・」

「そんな趣味って何よ!! 穴戸君めっちゃ優しくてカッコよくてウチのアイドルやもん!!」

へえ・・・男がねえ・・・

男がアイドルねえ・・・

「何その意味深な顔!!・・・・あゆみ!! そんなに男キライだったら・・・・・・・・そっそうよ!! 男テニ見てきなさいっ!!!!!!!!!!」

はぁ？

なんで男嫌いなのにわざわざ男の群れに入らなきゃならんのだよ○

絶対イヤだね○

大体私にはわからんが・・・ってか分かりたくも無いが

結構氷帝のテニス部は人気があるらしい・・・○

「いいから！！！！見てきなさい！！！！特に跡部！！！！跡部見ろ！！！！

そしたらお前も目覚めるハズ！！！！」

目覚める？は？何に
o

ってカ跡部？えっと・・・誰だっけ・・・

んゝ・・・

あ！！あの女遊びが激しいと有名なあのキモベ？！

そしてナ☆ルシって有名な

あのナ☆ルシを！！！！？？？見なきゃならん？！

ってカナルシわ逝け！！！！！！！！！！

しかも跡部は

付き合ってら捨てて

付き合ったら捨てて

そういう事を何度も繰り返しているらしい。

私そう言う男が一番だいつ嫌い!!

そんなヤツに何故私がワザワザ見に行かなくてはならんのだっ

「私、ひとみが何て言おうとっ!!絶対行かん!!」

「・・・もおっ!!もおあゆみなんか知らんっ!!!!あー!!
~~~~ほ!!!!!!」

ひとみは怒ってどっかに行ってしまった・・・。

所でひとみさん〇そのアホの長さは10年分くらいありますよ？



~ **a l i l y** ~ (後書き)

・ ・ ・ 全然テニプリキャラが出てきてないッ!!  
(え

~ **a t h o r o u g h w o r t** ~ (前書き)

名前変換できません  
o

~ **a t h o r o u g h w o r t** ~

あゝあ・・・一人で昼ごはん・・・一人で食べなきゃならないのかあ・・・

ひとみどっか行っちゃったからなあ・・・

d e i r d      f l o w e r ~ a t h o r o u g h w o r t ~

・・・何処で食べよう・・・

一応食堂にわ来たものの・・・

人が多すぎるッ!!

そんなところで一人で食べたら

恥ずかしいぞッ!! あゆみッ!!

「はぁ・・・屋上で食べるか・・・」

上まで上がんのメンドイなあ・・・

そう言いながらも屋上に向かう私って

偉い！！！！！

屋上のドアノブに手をかけ

ギイツ

と、言う音と共に柔らかい日差しが差し込んできた  
o

「うつひよ☆やつぱ屋上はイーねえ」

「さあッWWママンの手作り弁当を食べるとしましよ・・・

ドガンッ!!

「!?!」

ドアを蹴り上げる音と共に屋上に入ってきた物は・・・

「お・・・お・・・おおおお男おおお!?」

「あーん!?」

ひいひいひいっ!!!

誰!? 顔まぶしくて見えねーっ!!!

そう思ってる間に男が近寄ってきた。

ひひひひひ！！！！

ってそんな事よりっ！！

「あっあんたあ！！！！」

物は大切にしなさいって幼稚園の先生から言われなかったの？

ドアは蹴るものじゃあないんだよ？！

大体何屋上来てるのよ！！

ここは私のテリトリーよ！！（違います）

ったく！！あんたわトイレで飯食ってなさい！！あほ！バーカ！！」



随分話しがそれてます〇ええ〇

「あーん！？俺様にそんな口聞けるたあ・・・いい度胸してんじゃねえか・・・

ツハン・・・気に入ったぜ」

ハツツツ！！！！

しまった！！！！！！！！！！

「じじじじじじじじじじめんなさいいいいいい………私が悪い  
ですううううううう」

「おっおいー!」

何か引きとめられてた気がするけどっ!!

今はそんな事関係ナッシー……ング!!!



「うえええんっキモイ男がアアアあああ」

「え　　？　？　キモ男？」

怖かったしキモかったよお・・・

「キモイ男で悪かったな・・・」

「あ・・・跡部」

「え?! 跡部?!」

「「「「「跡部様あ!?!& a m p; #9825.;」」」」」

ツツツツ!?!?!?

あのキモイ男が跡部!?

ここまで付いてくるなんて・・・

もしかして・・・

ストーカー!?!?!?!?!! イヤーーーーッ!!!!

「あゆみまた変なこと考えてんでしょ」

「そんな事ないもん!!!!」

酷いなあっ!!

「あゆみっつーのか? あーん?」

ッ!!!!!!

こっ・・・コイツ・・・名前で・・・しかも呼び捨てで私の事呼びやが  
ったああああ!!!!!!

「呼び捨てするなっ! 名前で呼ぶなっ!」

「あゆみあゆみあゆみあゆみあゆみあゆみあゆみあゆみあゆみあゆみ」

大人げねええええええええええ！！！！！！

「あゆみ呼ぶなああああつ……このキモベ……」

「ハイハイ。あゆみ、  
どうどうどうっ  
www」

「キモベだあ?!  
・  
・  
・  
ツチ  
・  
・  
・  
○

ツハン！！そんな事よか今日からお前、男テニのマネージャーな。

お前に拒否権はもろんないぜ？これがお前への用事だ」

へえゝW W 所つかW W

って

「ええええええええええ？！ヤダ！！無理！！できないーっ！  
！！！！ってかなんで？！」

「良かったじゃん、あゆみW W」

良くなあああい！！！！



「なんでって・・・そりゃあ俺様を注意した挙句「ごめんなさい」一言で逃げた女なんか初めてだからな。

俺様直々に指名してやった事ありがたく思いな！そして俺様の美技に酔いな！」

・・・え？それだけ？しかも何か最後らへん変な言葉聞こえたけど・・・気のせい気のせい！

俺様から逃げた女だあ？

ってか当たり前じゃん  
o

キモイ男は逝け！！！！！！！！！！  
(酷

ちくしよお・・・

だ・・・だったら・・・っ!!!!!!

「いやあん& a m p; #9825; 跡部様あwwす・て・きいww  
何時見てもカッコイイですう& a m p; #9825;

跡部様に指名してもらえるなんて・・・あゆみ・・・し・あ・わ・せ  
& a m p; #9825;」

うげえええええええっ

自分で言って自分が気持ちわるううううう!!

でも・・・でも・・・これで他の女の子と同じって思うよね?!

そして私はマネージャーにならなくて済むハズ!!!!!!!!!!!!!!

「当たり前だろ。んじゃあ放課後、忘れずに部室に来るんだぜ? あーん?」

そう言い残してキモベは去った・・・

・・・えっ・・・

ちょっと待って・・・

さっきの・・・効かなかった?!

あそこまで頑張ったのにいいいい!!!!!

普通男褒めるなんて私しないよ?!

ちょっと待ってよおおおおお!!!!!!!!!

あ・・・そうだよ・・・

別に私がマネージャーになるって決めたわけでも無いんだしっ!!!

行かなければいいんだよっ!!!!

うん!! しょう!!

なんて私って頭いいんだろう & a m p ; # 9 8 2 5 ;

~ **a t h o r o u g h w o r t** ~ (後書き)

やっと出てきましたね・・キャラが!! (ジーン)  
次々どうなるんだろう (考えてない人)

~ **a yellow carnation** ~ (前書き)

名前変換できません  
o

~ **a yellow carnation** ~

きつとこれは悪夢の始まりなんだ・・・；

dried flower ~ a yellow carnation ~

「あゆみっつ! !」

はわわわ;; ;



「ひ・・ひとみ・・なっなに?！」

「何って・・・部屋・・行かなくていいの?」

なっ!・! なんてそんなニヤニヤしてるわけっ!?

さては面白がってるな?! コンチキショー!・!・!

「だ・・だって私がマネしたいって言ったんじゃないもん!!  
だから別に行かなくても良いの!!!! んじゃっ!! 私帰・・

ピンポンパンポーン♪

『3年3組若山 あゆみ〇早く部屋に来い〇

じゃねえと榊監督の個人授業だぜ？それが嫌だったら部室に来ることだな。あーん？』

ツキー！！！！！！！！

何校内放送してんのよ！！！！

手口が卑怯すぎんの！！キモベ！！！！！！

しかも榊先生の個人授業?!

絶対やだー！ー！！！！！！！！

「キモベのあほおおおおおお！ー！！！！！！」

キモベの言う通りに部室へ全力疾走で向かっている自分が惨めでな

らなかった・・・

そして

部室に入るそうそう自己紹介をするハメになったのは言うまでも無い・・・  
〇

「新しいマネージャーだぜ〇おい、あゆみ。自己紹介しろ」

何その偉そうな態度！！！私を呼び出した挙句、脅したくせにツツ！！

「……よろしく……」

よしWこれでいいよね！！！！名前教えたくも無いし、名前で呼ばれたくないもんっ

「柿監督の個人授業・・・」ボソツ

ツ  
ツ  
ツ  
ツ  
!  
!  
!  
!  
!  
!  
!

卑怯者の跡部 ええええ！！！！！！

チツクシヨ  
ー  
ー  
ー  
！  
！  
！  
！

「・・若山・・あゆみ・・です・・よろしく・・しないでください」

男がイツパイ・・・うええええええっ！！！！

しかも・・・なんか前の人・・・今笑ったような気がするんで  
すけど・・・

でも・・・この人意外とおとぎ話しの王子様ツポイかも・・・っ！  
！！！！

漆黒の髪にスラッと伸びた背・・・

まさに王子様ッ！！！！



「クスッ・・・。おもしろいやっちなあ・・・W」

前言撤回  
0

殺す  
0

男に「おもしろい」言われてもコレっぽっちも嬉しくねえよ!!!!!!

王子様かもって思った自分が恥ずかしい!!!!!!

確かにこの世に王子様みたいな人はいないかもしれないけど・・・

もつと・・・こう・・・誠実で清潔感あふれる人はいないの?!

っているワケないカ・・・所詮男ですもの・・・（酷

「っつー訳でこれからしっかりやれよ」

頭に手を置くキモベ

頭に手？

ん？誰の？

って私の――――――――――ッッッッ！――！！

「触んなっ！！汚らわしいッ！！！！！！シッシ！！！！これ以上近寄よんじゃねえわよ！！」

あああ！！後で殺菌処理しなくてわ！！！！

「うつわあ！跡部に其処まで言う奴なんているんだな！ブッ！！跡部相当嫌われてんじゃねえかWW」

V . . . V カット . . .

お . . . オカッパ . . . ?

「うるせえ岳人っ！早く練習にとりかかれ！！」

G a k u t ?

んゝ . . . ま、いつカ W

マネの仕事は結構イロイロあって、、

ドリンクやタオルいろんなことを一人でやらなきゃいけなかった。

っつかスッゴイ疑問!!

なんで他にマネがないの!?

一人じゃ無理だろお!! 200人て数の量!!

はう・・・疲れた・・・o一応全部やった自分に拍手ツ!!

あとタオルとドリンク持っただけじゃ・・・

・・・  
o

其処らへんに置いとけば皆勝手に取るよね  
o

うんo そうだそうだw

んぢゃあコレはベンチの上に置いといてw

うー・・・ん・・・他にやる事ないし・・・部屋に戻って何かやろお  
♪

部室に戻ったは良いものの・・・改めてみるとコレ部室には見えない・・・

これ絶対人住めるって奥さん!!!

もうなんかもう

ゴールド!!

見たいな感じ0 (意味不



んつと・・・私の鞆・・・

・・・ん？ソファに誰か居る？

誰だろ・・・女の子？もしかしてマネ！？

掛け布団かぶってるから顔みえねえー・・・

「おーい・・・？？此処で寝たら風邪引きますよお」・・・」

女の子が風邪引いたら大変でしょ・・・うんうん  
o

「・・・Z  
Z  
Z  
Z  
Z  
・・・  
・・・Z  
Z  
Z  
Z  
Z  
・・・  
・・・」

反応なし  
o

「もおしいもおしいいいいいっ!?!?!?!?!? 風邪引くつつ  
てんだろおがアアあああ!?!?!」

揺すってみる。お・・・起きるはず!?!?!?!?!? つか起きなかったら  
ドゥーーン!?!?!?!?!? (何

「んあ?・・・枕あゝ& a m p; #9825;」

あ・ ・ 起きた？

・  
・  
・  
・  
え  
・  
・  
・

掛け布団が捲れて・ ・ ・  
かっ顔が・ ・ ・  
・



[illegible]

~ **a yellow carnation** ~ (後書き)

榊テンターの個人授業なんて考えたくもない;;;  
(失礼  
コレ書いてる自分が怖いぞよ;;;

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1442a/>

---

dried flower

2010年10月9日19時42分発行